

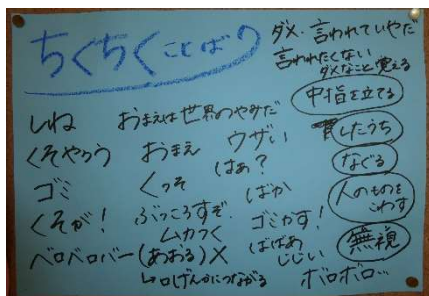
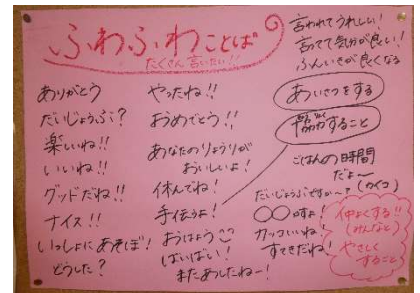


ふわふわ(あったか)言葉とちくちく言葉

先日のこと。そよかぜ学級の教室前を通っていると、ピンクと水色の掲示物が私の目に飛び込んできました。それが下の写真の「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」です。

ふわふわ(あったか)言葉とは、優しさや思いやりを込めた言葉であり、人を包み込むような温かさがあります。例えば、「すごいね」「ありがとう」「仲よくしよう」「助かりました」等の言葉が該当します。ふわふわ(あったか)言葉は、コミュニケーションを円滑にし、周囲との関係を深める力があります。たった一言でも、相手の心を温かくしてくれますよね。

一方で、ちくちく言葉は、批判的だったり、相手を傷つける可能性のある言葉を指します。「なんでできないの?」「もっとがんばれないの?」など、相手を責めたり、否定的な気持ちを表す言葉です。ひどい言葉だと



「大きい」「消えろ」「バカ」などの言葉があります。これらの言葉は、人間関係に亀裂を生み出す原因になります。自分が言われたくない言葉は、相手だって言われたくはないのは当たり前。だから友達やまわりの人にも言うてはいけない、ということです。言ってしまった言葉

は、もう元に戻すことはできませんから、よく考えて使わなければなりません。

周囲の人々に対して優しい言葉をかけ、お互いを思いやる気持ちを育てることで、学校全体が温かく、協力的な環境になると信じています。

日々の会話の中で、ふわふわ(あったか)言葉を意識して使ってみる。そして、ちくちく言葉には気をつけ、自分自身や周囲の人を大切にする言葉遣いを心がけていき、これからの学校生活が、ますます楽しい環境になることを願わずにはいられません。

子ども達の命を守るために・・・

来週からの水泳学習開始を前に、子ども達が安心して学習に取り組めるよう、本校教職員で心肺蘇生法の実技講習会を行いました。講習会では、胸骨圧迫の基本的な方法や AED の使い方について研修が行われました。

まず心肺蘇生法に関するビデオを視聴したのち、実際にダミー人形を使って胸骨圧迫を体験し、一つ一つの手順を確認しました。胸骨圧迫では、押す位置や強さ、リズム



が大切であることを学びながら、繰り返し練習することで動きに慣れていくことができました。また、AED を使う場面を想定し、電源を入れてからパッドを貼るまでの流れや、周囲への声かけの仕方についても確認しました。

さらに、複数人で協力して対応することを意識し、役割分担や連携の大切さについても学びました。緊急時には、誰か一人が動くだけでなく、周囲と声を掛け合いながら落ち着いて対応することが重要です。今回、このような基本を改めて見直す機会となりました。



日頃から安全に気を配っていても、予期せぬ事態は起こることがあります。だからこそ、いざという時に適切な行動がとれるよう、繰り返し学び、備えておくことが大切です。今回の講習会を通

して、我々一人一人が「子ども達の命を守る」という意識を高め、改めて安全への責任を感じることができました。



来週から始まる水泳学習はもとより日常の学校生活も含め、教職員一同、子ども達が安心・安全に楽しく学習に参加できるよう、準備を進めていきます。今後も、子ども達が充実した学校生活を送っていけるよう、学校全体で取り組んでいきます。